

# CT検査 説明書

## 《検査について》

- 当日は予約時間の 20 分前までに来院して下さい。
- CT 検査とはエックス線とコンピュータを使い、身体の断面を撮像し病気の診断・治療に役立てる為の検査です。
- 検査時は検査着に着替えていただきます。
- 検査所要時間は 10 ～ 15 分です。
- 検査中は息止めをしていただくことがあります。
- 検査中は体を動かさないようにしてください。
- 検査の種類によっては、心電図をつけながら検査をすることがあります。
- 救急対応等により、検査時間が多少前後する可能性があります。
- 造影 CT の場合は血管確保の為の点滴をします。

以下のものは検査前にはずしておいて下さい。

頭部・頸部撮影では

義歯、カツラ、ヘアピン、  
アクセサリ、補聴器 など

躯幹部撮影では

金具の付いた下着、アクセサリ、  
湿布、エレキバン、カイロ など

## 《食事・飲水について》

- お茶・水は、普段通りに飲んでいただいて結構です。
- 腹部の検査や造影剤を使用する場合は、検査予約時間の 4 時間前までに食事を済ませてください。

## 《造影剤について》

- CT 検査においては造影剤を使用する場合があります。  
造影剤を注射することによって、より小さな病変が見つかったり、病変の性状が詳しくわかったりするため、診断に大変役立ち治療もしやすくなります。
  - 次の方は造影剤を使用出来ません。
    - ・ヨード又はヨード造影剤に過敏症の既往歴のある方
    - ・重篤な甲状腺疾患のある方 ▶ 症状が悪化するおそれがあります
  - 次の方は造影剤を使用するにあたり特に注意が必要です。
    - ・一般状態が極度に悪い方
    - ・気管支喘息の方 ▶ 副作用の発生頻度が高いとされています
    - ・重篤な心障害のある方 ▶ 血圧低下、不整脈、頻脈等の報告があり、症状が悪化するおそれがあります
    - ・重篤な肝障害のある方 ▶ 症状が悪化するおそれがあります
    - ・重篤な腎障害（無尿等）のある方 ▶ 排泄遅延から急性腎不全等、症状が悪化するおそれがあります
    - ・マクログロブリン血症の方 ▶ 静脈性胆嚢造影剤で血液のゼラチン様変化をきたした報告があります
    - ・多発性骨髄腫の方 ▶ 腎不全（無尿等）を起こすおそれがあります
    - ・テタニーのある方 ▶ 血中カルシウム低下により、症状が悪化するおそれがあります
    - ・褐色細胞腫の方及びその疑いがある方 ▶ 血圧上昇、頻脈、不整脈等の発作が起こるおそれがあります
- ※該当する方は検査の前にかかりつけ医にご相談ください。

## 《造影剤の副作用について》

- 副作用の種類と頻度は以下のようになっています。
    - ・軽い副作用：かゆみ、発赤、吐気、嘔吐、くしゃみ、頭痛等。  
※基本的に治療は不必要です。頻度は約 0.4 ~ 1.0% 以下（1,000 人につき約 4 ~ 10 人程度）。
    - ・重い副作用：不整脈、けいれん、腎不全、意識消失、呼吸困難等。  
※原則的には治療が必要です。頻度は約 0.04%（2,500 人に 1 人程度）。
    - ・極めて重い副作用：重度の副作用のうち、入院を必要とするもの。  
※頻度は約 0.004%（25,000 人に 1 人）
    - ・病状・体質によっては 0.0005% ~ 0.001%（10 万 ~ 20 万人に 1 人）死亡する場合があります。
  - 重篤な甲状腺疾患のある方は症状が悪化するおそれがあります。  
また喘息の方、造影剤の副作用歴を持つ方、ある種の経口糖尿病薬や心臓病の薬を内服中の方の場合、これらの副作用の発生率が高くなります。
- ※該当する方は検査の前にかかりつけ医にご相談ください。

## 《造影剤の自動注入について》

- 造影剤を短時間内に機械的に注射します。静脈には個人差があり、造影剤が血管外に漏れやすい体質の方もおられます。頻度は約 0.3 ~ 0.9%（110 人 ~ 330 人に 1 人）。
- 造影剤は、多くの場合は時間とともに吸収され問題は残りませんが、漏れた量が多い場合に、追加処置が必要となる場合があります。

## 《造影剤検査後の注意》

- 造影剤は、尿として排泄されます。検査後当日は多めに水分をとるようにして下さい。食事は、普段どおりで結構です。
- 極めて稀にですが、造影剤の副作用として検査後数日以内に動悸、頭痛、吐気、かゆみ、蕁麻疹等の症状が現われることがあります。  
これらの症状のほとんどは、軽度で自然に消失しますが、症状が続く場合はかかりつけ医まで連絡して、その指示に従って下さい。
- その他、不明な点がありましたら、かかりつけ医もしくは、当センター地域連携課にご連絡下さい。

## 《ビグアイド系糖尿病薬》

- ビグアイド系糖尿病薬を飲んでいる方は、注意が必要です。併用により乳酸アシドーシスを来すことがあり、腎機能が低下している場合は、一時的に糖尿病薬を中止する場合があります。

TMGあさか医療センター

〒351-0023 埼玉県朝霞市溝沼1340-1  
TEL：048-466-2055 FAX：048-497-5594

(2018.10.1 作成)